

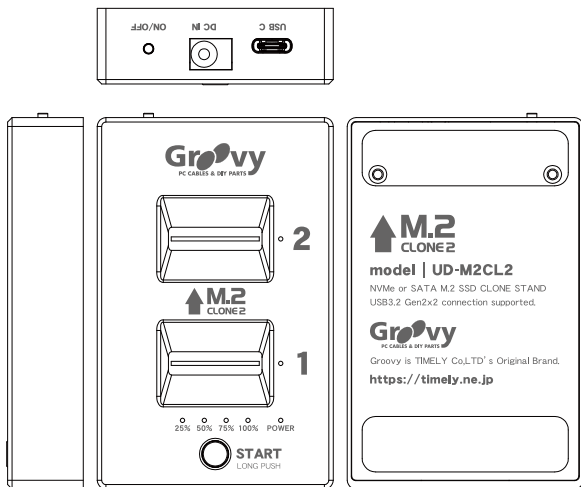
# M.2 CLONE2

## ユーザーマニュアル

NVMe M.2 SSD ▶ クローン ▶ NVMe M.2 SSD  
[PCIe]

SATA M.2 SSD ▶ クローン ▶ SATA M.2 SSD

NVMe or SATA M.2 SSD ■ □ USB3.2 Gen2x2  
[PCIe]



**UD-M2CL2**

※本製品には SSD は付属しておりません。

はじめにお読みください。

## ■安全上のご注意・はじめに必ずお読みください

本製品のご使用にあたっては、使用者および他者への危害や財産の損害につながるおそれがあります。そのため、本書では必ずお守りいただきたい内容を重要度の高い順に、「危険」「警告」「注意」の順で記載しています。

## ▲危険（死亡や重篤な障害を負う恐れが大きいです。）

- ・煙が出たり、異臭や異音が出たら、コンセントからプラグを抜いてください。
- ・また、その他の製品の異常がありましたら、ご使用をやめ、速やかにサポートまでご連絡ください。
- ・電源コード、接続コードの上に物をのせたり、傷つけたり、折り曲げ、押し付け、加工などは火災・感電の原因になりますので行わないでください。
- ・本製品および付属品の分解や改造を行わないでください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・火や暖房器具、発熱する機器の近くで使用しないでください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・水などの液体に濡らさないでください。発熱・発火・感電・やけどの原因になります。
- ・人体に触れたまま使用しないでください。発熱により、やけどや感電の原因となるおそれがあります。
- ・ご使用後は必ず電源を切り、電源ケーブルを取り外して保管してください。予期せぬ停電やケーブルの抜け落ち等で機器の破損の原因になります。

## ▲警告（死亡や重篤な障害を負う恐れがあります。）

- ・端子部分の埃や汚れを掃除してください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・各ケーブルの接続部はしっかりと押しこんでください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・付属品以外のケーブルや電源アダプタを使用しないでください。発熱・発火・感電・破損・データの損失などの原因になります。
- ・お客様の近くで使用しないでください。発熱によるやけどや予期せぬ感電の原因になります。
- ・乳幼児の口に入る小さな部品があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ・ご使用後は必ず電源を切り、電源ケーブルを取り外して保管してください。予期せぬ停電やケーブルの抜け落ち等で機器の破損の原因になります。

## ▲注意（軽傷を負ったり、機器の損害の恐れがあります。）

- ・本製品と接続した機器は水平で安定した所に設置してください。予期せぬ滑落やケーブルの脱落などの原因になります。
- ・40度以上の高温や極端に湿度の高い場所で使用しないでください。本製品の故障や接続した機器のデータ破損などにつながる恐れがあります。
- ・パソコン接続中は本製品や接続機器に触れないでください。低温やけど・データ破損・機器の破損につながる恐れがあります。
- ・ご使用後すぐには本製品や接続した機器に触れないでください。低温やけどや・データ破損・機器の破損につながる恐れがあります。
- ・ケーブルや機器の着脱は必ず本製品の電源を切ってから行ってください。本製品や機器の故障・データの破損などにつながる恐れがあります。
- ・本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えたり、ピンなどの異物を差し込んだりしないでください。
- ・本製品は精密機器ですので、体の静電気を取り除いてからご使用ください。静電気を与えると誤作動や故障、データ損失の原因になります。
- ・本製品を、直射日光に当たる場所、高温、多湿となる場所、ホコリや湯煙などの多い場所、強い磁場、電波、静電気の発生する場所での使用、保管をしないでください。
- ・お手入れの際には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものや、液体は使用しないでください。
- ・本製品の電源をONにした状態で、SSDの着脱を行うことはできません。SSDを着脱する場合は、必ず本製品の電源をOFFにしてから行ってください。

## その他の注意事項

### ■商標について

- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・ macOS、Mac OS X は、米国 Apple Inc. の登録商標です。
- ・ PlayStation (R) 5、PlayStation (R) 4、PS (R) 5、PS (R) 4、PS (R) 4 Pro は、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントおよび株式会社ソニーの登録商標です。
- ・ 本製品は、上記各社のライセンス製品ではありません。
- ・ その他、本書に記載されている名称（機能名・規格名・商品名・会社名など）は、各社の商標または登録商標です。

### ■ご使用に関する注意・免責事項

- ・ 本製品には SSD は含まれておりません。
- ・ 本製品は、すべての SSD の動作を保証するものではありません。
- ・ 本製品の性能を十分に発揮させるためには、USB3.2 Gen2×2 以上のポートに接続してください。
- ・ パソコンの USB4 ポートに接続した場合、下位互換機能により USB3.2 Gen2（最大10Gbps）として動作します。
- ・ 本製品の保証は、日本国内でのご使用および本書をお読みいただいた場合のみ有効です。
- ・ ご使用前に重要なデータのバックアップをお取りください。
- ・ 本製品ご使用中に万が一接続機器の破損・データ損失が生じた場合でも、データの復旧や再生、データ損失に起因するあらゆる損害は保証対象外となります。（データ保証の免責）
- ・ 本書に記載された動作環境に準じたすべての機器での動作を保証するものではありません。
- ・ 付属の取扱説明書を必ずお読みのうえご使用ください。特殊な使用方法に関するご質問には対応いたしかねます。
- ・ 製品改良のため、外観・仕様・記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ・ 弊社製品は一般コンシューマ向けに設計・製造されています。業務用、工場、産業用途などでのご使用は保証対象外となります。
- ・ 保証の対象は本体および付属品のみとなります。
- ・ 長期間ご使用にならない場合は、電源ケーブルを取り外した状態で保管してください。
- ・ 本製品のご使用により発生したダウンタイム（稼働停止期間）に関する補償はいたしかねます。

はじめにお読みください。	2～3ページ
目次	4ページ
製品構成	5ページ
対応 OS	5ページ
対応 SSDおよび対応 M.2 端子	5ページ
各部名称	6ページ
SSDの装着方法	7ページ
クローン SSD作成方法	8ページ
パソコンと接続	9ページ
接続の確認	9ページ
パソコンからの取り外し	9ページ
SSDの初期化方法 (Windows)	10～15ページ
SSDの初期化方法 (macOS)	16～17ページ
ボリュームの拡張について	18ページ
UASPモードについて	19ページ
ディスク署名の競合について	19ページ
よくあるご質問 Q & A	19～20ページ
製品仕様	20ページ
製品保証書	21ページ

## 製品構成

ご使用前に必ずご確認ください。

- ☐製品本体
- ☐電源アダプタ
- ☐USB Type-C to C ケーブル

※本製品には SSD は付属しておりません。

## 対応 OS

- ・ Windows 11/10 (各 64/32bit 版)
- ・ macOS 10.2.6 以降
- ・ USB 接続 HDD 録画に対応した TV

※TV の仕様によっては動作しない機種もございますが、保証対象外です。  
(パナソニック製 TV は動作検証外)

- ・ PS (R) 5  
※PS (R) 5 では「拡張ストレージ」としてフォーマットした 1 台の SSD を使用可能です。
- ・ PS (R) 4 など  
※PS (R) 4/4Pro では「拡張ストレージ」としてフォーマットした 1 台の SSD を使用可能です。

## 対応 SSD および対応 M.2 端子

対応 SSD : NVMe M.2 SSD / SATA M.2 SSD

対応 M.2 端子 : M key / B&M Key

■ M.2 SSD 端子の形状について

※M.2 SSD の端子形状が B&M Key の場合、端子の切り欠きが 2 か所あります。

※B Key は端子の端が太く、M Key は端が細くなっています。

**本製品のコネクタは M Key 専用 です。接続の際は、端子の細い方が切り欠きの位置に合うように正しく差し込んでください。**

※B Key 側を無理に挿入すると、SSD や本体の破損につながるおそれがあります。

**必ず端子形状をご確認のうえ、正しい向きで接続してください。**

## 各部名称

### ①M.2 スロット 1

NVMe M.2 SSD または SATA M.2 SSD を接続してください。  
クローン作成時には**クローン元**となる SSD を接続してください。

### ②M.2 スロット 2

NVMe M.2 SSD または SATA M.2 SSD を接続してください。  
クローン作成時には**クローン先**となる SSD を接続してください。

### ③アクセス LED

アクセス時に青色に点滅します。

### ④クローンインジケータ

クローン作成時にクローン進行度に合わせて点滅（作業中）、点灯（終了）します。

※クローン先の容量不足やエラーによりスタートできない場合、全点滅します。

### ⑤クローンボタン

クローン作成時に長押し（5 秒以上）でクローンが開始されます。

### ⑥電源 LED

電源通電時に緑色に点灯します。

### ⑦USB Type-C ポート

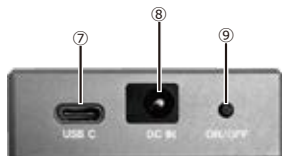
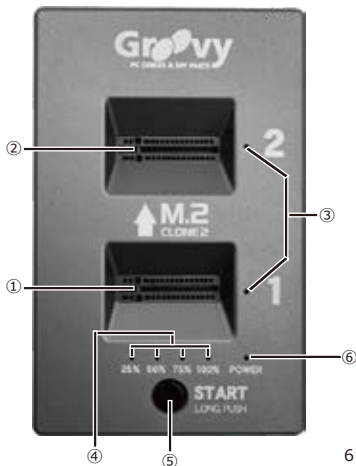
付属の USB ケーブルを接続し、パソコンに接続してください。

### ⑧電源コネクタ

付属の電源アダプタを接続してください。

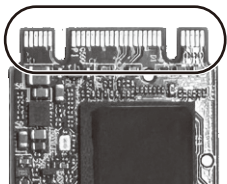
### ⑨電源スイッチ

電源の ON/OFF が行えます。

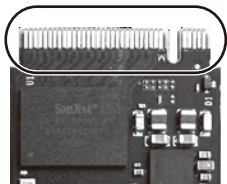


## SSD の装着方法

※ご使用になろうとしている M.2 SSD が NVMe または SATA タイプであり、M Key または B&M Key であることを、必ずご確認ください。



B&M Key



M Key

M.2 SSD の端子の切り欠き位置と本体側の切り欠き位置を確認し、M.2 SSD を真上からまっすぐ差し込んで接続してください。

接続後、M.2 SSD と本製品がしっかり固定・接続されていることを確認してください。

※M.2 SSD の端子形状が B&M Key の場合、端子の切り欠きが 2 か所あります。

B Key は端子の端が太く、M Key は端が細くなっています。

本製品のコネクタは M Key 専用 です。接続の際は、端子の細い方が切り欠き位置に合うように正しく差し込んでください。

※B Key 側を無理に接続すると、M.2 SSD や本体が破損するおそれがあります。

端子形状をよくご確認くださいのうえ、正しい向きで接続してください。□



端子の切り掛け位置



SSD 接続状態

※写真では M.2 SSD を 2 枚同時に接続していますが、パソコン接続時は M.2 SSD 1 枚でも使用できます。

## クローン SSD 作製方法

クローンは Windows 上のコピーとは異なり、OS 等のシステム領域や、パーティション、未割り当て、データの無い領域も含めた全ての領域をクローン（複製）します。

※クローン元とクローン先の SSD を誤って接続すると、**大切なデータが上書きされてしまう恐れがあります。**  
接続前に必ずご確認ください。

※クローン先の SSD は、**クローン元の SSD と同容量以上**である必要があります。

※同容量の SSD を使用してクローンする場合は、**同一メーカー・同一型番の SSD** を使用することを推奨します。

（SSD 製造時期によっても実際の容量値に数 KB 程度のわずかな差がある場合がありますのでご注意ください。）

※「M.2 スロット 1」に「M.2 スロット 2」より容量の大きい SSD を取り付けた場合、**クローンモードは開始されません。**

※リカバリー領域などの特殊なパーティションは、クローンが完了しても**正常に動作しない場合があります。**

※SSD にエラーがある場合、**クローンを実行できません。**

### ① NVMe/SATA SSD の接続

クローン元の SSD を「M.2 スロット 1」に、クローン先の SSD を「M.2 スロット 2」に接続してください。

### ② 電源の接続と電源ボタンの ON

付属の電源アダプタを接続し、本体の電源ボタンを押し、本体の電源を ON にしてください。  
本体の電源が ON になると電源 LED が点灯し、NVMe/SATA SSD を認識すると、アクセスランプが点灯します。

### ③ クローンのスタート

クローンボタンを長押し（5 秒以上）してください。正常にクローンがスタートすると、25% のクローンインジケーターが点滅します。

※**クローン先の容量不足や他のエラーによりスタートできない場合、クローンインジケーターの 25%、50%、75%、100% が全て同時に点滅します。**

### ④ クローンの完了

クローンインジケーターの 25%、50%、75%、100% の LED が点灯したら、クローンが完了します。  
本体の電源ボタンを OFF にしてください。

※クローン先の SSD とクローン元の SSD を同じパソコンに接続すると、「ディスク署名の競合」が発生します。2 枚同時に認識させるにはディスクの管理から「オフライン」状態の SSD を「オンライン」状態にする必要があります。

## クローン作成時・PC 接続時のご注意

本製品は **M.2 NVMe SSD と M.2 SATA SSD** の両方に対応していますが、クローン作成時および PC 接続時には、**異なる規格（NVMe と SATA）の SSD が混在している場合、正しく認識されません。**

そのため、2 本の SSD を装着する際は、**必ずどちらか一方の規格（M.2 NVMe SSD または M.2 SATA SSD）に統一して接続してください。**



## パソコンと接続

M.2 SSD を接続した本製品をパソコンに接続します。

USB Type-C インターフェースを搭載したパソコン



本製品



### 接続手順

- ①本製品に NVMe(PCI) もしくは SATA 接続どちらか 1 種のための M.2 SSD を接続します。
- ②電源アダプタをコンセントに接続し、本製品に接続します。
- ③付属の USB ケーブルを本製品とパソコンに接続します。
- ④本製品の電源を ON にします。

※新品の SSD を接続した場合は、フォーマットが必要です。

※使用中や使用直後は SSD が熱くなる場合があります。電源を切ってから冷まして取り外してください。

## 接続の確認

### ●Windows

スタート→エクスプローラー→PC でドライブ表示が追加された事を確認してください。

### ●Mac OS

デスクトップ上にストレージのアイコンが追加された事を確認してください。

## パソコンからの取り外し

### ●Windows

タスクバー上の USB アイコンをクリックし、「ハードウェアの安全な取外し」を選択し、本製品を取り外してください。

### ●macOS

デスクトップ上の本製品のアイコンを「ゴミ箱」の方にドラッグすると「ゴミ箱」が「イジェクト」アイコンに変化致しますので、そのままドロップしてください。

※本製品の電源を ON にした状態で、SSD の着脱を行うことはできません。

SSD を着脱する場合は、必ず本製品の電源を OFF にしてから行ってください。

## PC 接続・再接続に関するご注意

本製品の電源が入ったまま接続を取り外した後に再接続する場合は、正常に認識させるために、一度電源を切り、再度オンにしてください。

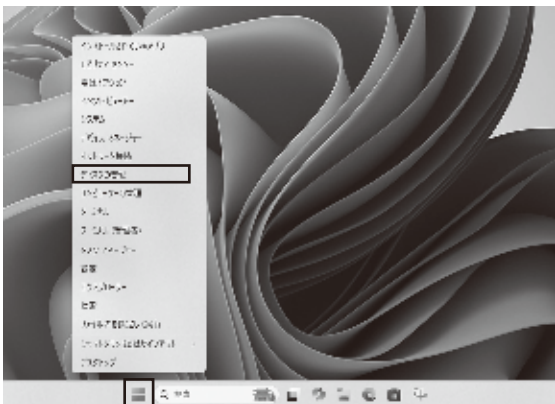
## SSDの初期化方法（Windows）

※この説明ではSSDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作方法を説明しております。  
パーティションを分割する場合はWindowsの説明書や参考書籍などをご使用ください。

## ●初期化及びフォーマット方法(Windows11、10)

※ご注意ください。初期化、フォーマットを行うとSSD内のデータは全て削除されます。

①デスクトップにある「Windows」マーク上で「右クリック」し「コンピューターの管理」を選択してください。



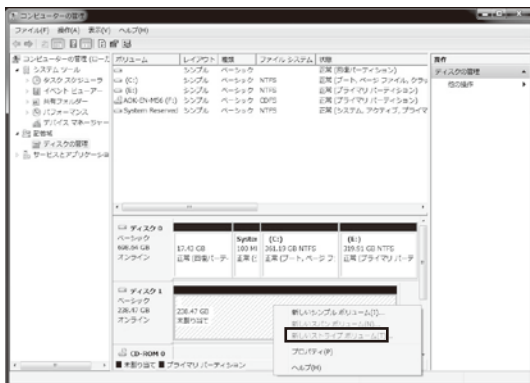
②コンピュータの管理が表示されますので、「ツリー」から「ディスクの管理」を選択してください。



- ③初期化が行われていない SSD をパソコンに接続していた場合、「ディスクの管理」を選択した際に、「ディスクの初期化」が表示されます。
- 2TB 未満の SSD を接続している場合は「MBR( マスターブートレコード )」を選択してください。
- 2TB 以上の SSD を接続している場合は「GPT(GUID パーティションテーブル)」を選択してください。
- 設定後に「OK」を選択してください。



- ④「ディスク」から「未割り当て」と表示された領域で「右クリック」し、メニューから「新しいシンプルボリューム」を選択してください。



⑤「新しいシンプルボリュームウィザード」が表示されますので、「次へ」を選択してください。



⑥「ボリュームサイズの指定」が表示されます。全ての領域をフォーマットする場合は「次へ」を選択してください。

パーティションを分割する場合は「最小ディスク領域」から「最大ディスク領域」までの任意のサイズを「シンプルボリュームサイズ」に指定してから「次へ」を選択してください。

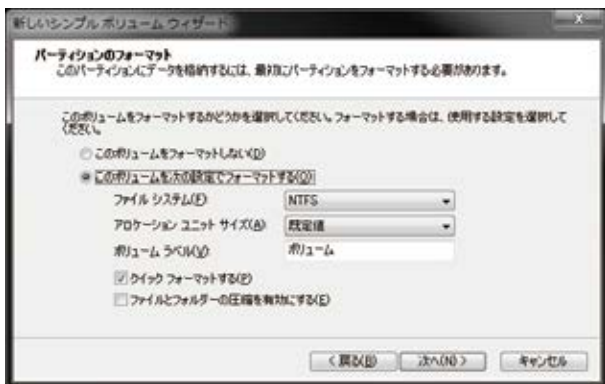


⑦「ドライブ文字またはバスの割り当て」が表示されます。指定が無ければ空いている割り当て番号の一番若い番号が表示されておりますので、そのまま「次へ」を選択してください。

※「次の空の NTFS フォルダーにマウントする」と「ドライブ文字またはドライブバスを割り当てない」は通常使用しませんので選択しないでください。こちらの機能を使用する場合は別途 Windows のヘルプや参考書をご参照ください。



⑧「パーティションのフォーマット」が表示されます。特別な設定を行う以外はそのまま「次へ」を選択してください。



※「パーティションのフォーマット」にて設定を変更する場合は下記をご参照ください。

ファイルシステム	NTFS、FAT32、exFATが選択できます。 FAT32では32GB以上の領域をフォーマットできませんので、32GB以上の領域をフォーマットする場合はNTFSでフォーマットを行ってください。 exFATでフォーマットする場合はWindows Vista以前のWindows OSでは正常に認識できなくなる可能性があります。
アロケーション ユニットサイズ	パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で設定してください。
ボリュームラベル	マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
クイックフォーマット	チェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。 通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域を確認しませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。 クイックフォーマットを行わない場合、ディスクの容量によっては数時間～数十時間かかる場合があります。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
ファイルとフォルダの 圧縮を有効にする	このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。 一部のアプリケーションでは、この設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

⑨「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」が表示されます。

テキストボックス内の設定を確認後に「完了」を選択すると、フォーマットが開始されます。



- ⑩フォーマットが開始すると、「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が 100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマットが完了します。
- ※フォーマット中はコンピュータの電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windows を終了しないでください。



- ⑪フォーマットが完了すると「ディスクの管理」に容量が表示されます。
- マイコンピュータを選択し、ドライブが追加されている事を確認してください。

～参考～ 2TB の SSD を接続したのに認識される容量が 1.8TB 程になってしまう

WindowsOS の「空き領域」等で表示される容量は計算方式が異なるため、容量が少なく表示されますが、これは異常ではありません。

ほとんどすべての SSD メーカーは公称容量を

○1MB=1,000,000 バイトで計算した値で示しています。

しかしパソコン上では、

○1KB=1024 バイト

○1MB=1024 x 1024=1,048,576 バイト

○1GB=1024 x 1024 x 1024=1,073,741,824 バイト

○1TB=1024 x 1024 x 1024 x 1024=1,099,511,627,776 バイト

と計算します。これを換算してみると、

○2,000,000,000,000÷1,099,511,627,776=約 1.81TB

となり、200GB 程度少なくなることとなります。

## SSDの初期化方法（macOS）

※この説明では SSD にパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作方法を説明しております。

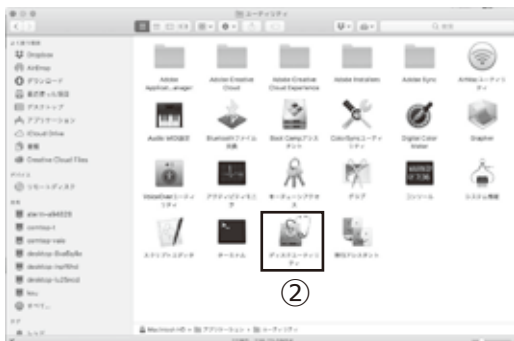
パーティションを分割する場合は macOS の説明書や参考書籍などをご使用ください。

※フォーマットを行うと SSD 内のデータは全て削除されます。

①デスクトップ上部にあるの移動タブの中から「ユーティリティ」を選択してください。



②ユーティリティの中から「ディスクユーティリティ」を選択してください。





③フォーマットを行う SSD を選択してください。

④「消去」を押してください。

⑤フォーマットを選択してください。

#### ●APFS

macOS のみで SSD を使用する場合は選択してください。

macOS 10.13 以降でのみ使用できるフォーマットです。それ以前の macOS では使用できません。

#### ●macOS 拡張（ジャーナリング）

macOS のみで SSD を使用する場合は選択してください。

#### ●MS-DOS（FAT）

macOS と Windows で SSD を使用する場合は選択してください。

1 ファイルで 4GB を超えるファイルは使用できません。

#### ●exFAT

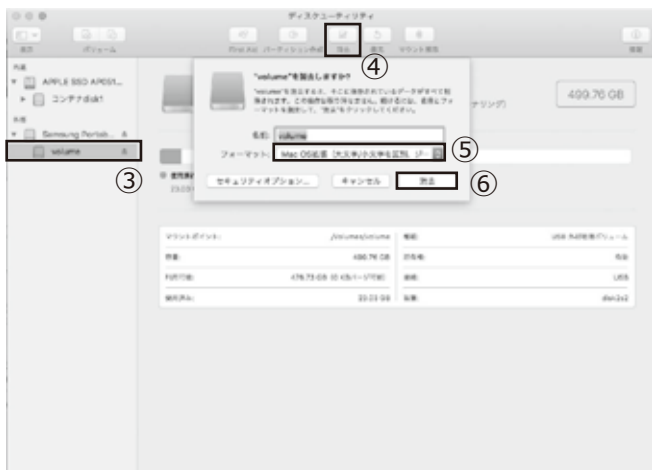
macOS と Windows で SSD を使用する場合は選択してください。

Windows Vista 以前の OS では認識できません。

※Windows OS と macOS 両方で使用する場合で、「方式」からパーティションマップを変更する場合は、「GUID パーティションマップ」か「マスター・ブート・レコード」を選択してください。

「Apple パーティションマップ」を選択すると、macOS 以外では認識できなくなります。

⑥「消去」を選択するとフォーマットが開始されます。



※操作手順は、macOS 10.13.6 の場合です。

## ボリュームの拡張について

### ●ボリュームの拡張について

元の SSD より、容量の大きい HDD/SSD にクローンを行った場合、以前にパーティションを切って使用していた領域以外は、未割り当て領域となります。

未割り当て領域を使用して、既存のドライブ（C ドライブ等）の領域を拡張する事ができます。

※手順を間違えると大切なデータが消えてしまう可能性がありますので、十分に注意して操作を行ってください。

データの消失に関して弊社では一切保証することができませんのでご了承ください。

手順に不明な点がある場合は、Windows の参考書等をご参照ください。

### ●ボリュームの拡張方法

本項目には、C ドライブを拡張する方法を説明します。

#### ①ディスクの管理の表示

Windows 11/10/8.1 の場合：「スタートボタン」上で右クリックし、「ディスクの管理」を左クリックで起動してください。

Windows 7 の場合：「コンピューター」上で右クリックし、「管理」を選択してください。

「コンピューターの管理」が表示されますので「ディスクの管理」を選択してください。

#### ②「ディスクの管理」に表示されている拡張したいパーティション上で右クリックしてください。

#### ③「ボリュームの拡張」を左クリックで選択してください。

※「ボリュームの拡張」を行うパーティションが「未割り当て領域」と隣り合わない場合は「ボリュームの拡張」は行えません。

例：「System」「C」「D」「未割り当て」とパーティションが並んでいる場合、「C」を拡張する事はできません。

その場合は「D」に入っているデータを他の場所に移動し（外付け HDD 等）、「D」パーティションを削除し、

「System」「C」「未割り当て」という順番にパーティションが並んだ状態にしてください。

（「D」パーティションにソフトのインストールデータ等が入っていて移動できない場合は Windows の機能ではパーティションを拡張できませんので、別途パーティション管理ソフトを使用してください）

#### ④「ボリュームの拡張ウィザード」が表示されますので、「次へ」のボタンを押してください。

#### ⑤「ディスク領域（MB）を選択」欄に任意のサイズを入力し、「次へ」を押してください。

※「D」パーティションを削除し、後にもう一度「D」パーティションの作成を行いたい場合は、「D」パーティション分の容量を残してください。

#### ⑥「ボリュームの拡張ウィザードの完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンを選択してください。

#### ⑦「コンピューター」の管理画面でパーティションが拡張されている事を確認してください。

※「D」パーティションを削除して「C」パーティションを拡張し、もう一度「D」パーティションを作成したい場合は、この操作の後に作成してください。

## UASP モードについて

- ・本製品を USB3.2 UASP モードで使用すると、通常の USB3.2 接続で使用する場合に比べて、より高速で使用することができます。

本製品を USB3.2 UASP モードで使用する場合、以下の条件を全て満たしている必要があります。

- ・ USB コントローラー IC が UASP モードに対応している
- ・ USB コントローラー IC のドライバが UASP モードに対応している
- ・ OS が UASP モードに対応している (Windows 11/10 / 8.1) (macOS 10.8 以降)

## ディスク署名の競合について

クローン元の SSD とクローンモードで複製した SSD をパソコンに接続した場合、同じデータが書き込まれた SSD が 2 台パソコンに認識されますが、ディスク署名が競合するため、1 台の SSD ししか使用できません。

他の用途で 2 台同時に SSD を使用したい場合、Windows の場合は「ディスクの管理」から「オフライン」状態の SSD を「オンライン」に変更するか、管理者権限のコマンドプロンプトから「Microsoft diskpart」を起動し、ディスク署名を変更してください。

## よくあるご質問 Q&A

Q. SSD が認識しません。

- A1. 本製品の電源を ON にした状態で、SSD の着脱を行うことはできません。  
SSD を着脱する場合は、必ず本製品の電源を OFF にしてから行ってください。
- A2. ご使用になろうとしている M.2 SSD が、NVMe または SATA タイプであり、M Key または B&M Key 接続であること、NVMe/SATA どちらか 1 種のみであることをご確認ください。
- A3. 故障した PC や機器から取り外した SSD は、正常に認識できない可能性があります。
- A4. 新規に購入された SSD は初期化（フォーマット）が必要です。本書 P.10～18 を参照。

Q. mac でフォーマットした SSD を Windows で開けません。

- A. フォーマット形式を FAT 形式にしてください。(MS-DOS ファイルシステム)

Q. Liunx や Unix でも使用可能ですか？

- A. カーネルが対応していれば使用可能ですが、サポートはしていません。

Q. 高速転送できる条件を教えてください。

- A. パソコンの USB ポートが 5Gbps 以上 (USB3.0 以上) に対応している事をご確認ください。  
本製品は最大で USB3.2 Gen2x2 (20Gbps) に対応しています。  
また SATA M.2 SSD より NVMe M.2 SSD の方が高速でお使いいただけます。

Q. クローンモードが開始されません。

- A1. 本製品のクローン機能は「小さい容量の SSD から大きい容量の SSD」のみが可能です。  
必ず「M.2 スロット 2」（クローン先）には「M.2 スロット 1」（クローン元）より大きい容量の SSD をご利用ください。
- A2. どちらか一方の規格（M.2 NVMe SSD または M.2 SATA SSD）に統一して接続されているか、ご確認ください。

Q. クローン先の SSD を装着したパソコンでクローン元の SSD が認識できません。

A. ディスク署名の競合が発生しています。ディスク署名を変更してください。

Q. 500GB の SSD から 1TB の SSD にクローンしたのに、C ドライブが 500GB しか無い。

A. クローンを行ってもパーティションサイズは変更されません。

ボリュームの拡張をおこなってください。

Q. クローンインジケータ（25/50/75/100% ランプ）が全て同時に点滅しています。

A1. クローン先 SSD はクローン元と完全に同容量がそれ以上である必要があります。

※市販される SSD は同メーカー同型番であっても、販売時期により数 KB 程度の実容量差がある可能性があります。SSD メーカーが公表するスペックシートの確認が必要です。

A2. SSD のいずれかにエラーがあり読み取れない可能性があります。

Q. クローンインジケータが長時間（1 時間以上）進行しません。

A. いずれかの SSD に読み込みや書き込みができない規模や、多数のエラーがある為です。

本製品ではクローンが行えません。本製品の電源を切り、クローンを停止してください。

※クローン中に電源を切った場合、クローン先 SSD は不完全な状態となります。

クローン先 SSD のみを接続した状態で PC に USB 接続していただき、本書 P10 ～ 18 をご参照いただき、初期化を行ってください。

## 製品仕様

対応ドライブ	NVMe(PCIe) / SATA接続M.2 SSD
ドライブ端子	M.2 M-Key、M.2 B&M-Key
USB接続 対応環境	USB20Gbps (USB3.2 Gen2 x2) 、USB10Gbps (USB3.2 Gen2) USB5Gbps (USB3.2 Gen1、USB3.0) 、USB2.0接続にも対応します。
USB接続 対応OS	Windows 11/10 macOS 10.2.6以降 USB接続録HDD画に対応したTV、PS (R) 5、PS (R) 4など
外部接続	USB 20Gbps (USB3.2 Gen2x2※理論最大値) Type-C対応 ※付属USBケーブル経由
製品サイズ	製品寸法：幅55 x 縦85 x 高さ19.5mm(突起部含まず) USBケーブル長さ：約100cm
重量	約90g (本体のみ)
電源	付属電源アダプタ経由。入力100～240V / 最大出力12V 2A
内容物	UD-M2CL2本体、電源アダプタ USB Type-C to Cケーブル
保証期間	製品ご購入より一年間 (ご購入日、ご購入店が記載された領収書や納品書が必要です。)

## 製品保証書

型番 UD-M2CL2	
お名前	
ご住所	〒  TEL
ご販売店	
ご購入日	年 月 日

## 製品保証規定

- ①本書記載の注意事項やご使用方法で、正常に日本国内でご使用いただいております。ご購入日とご購入店が記載されたレシートや領収書、納品書の何れかと、上記の製品保証書を併せてご提示いただく事で、ご購入より1年間の間、当社規定の方法で無償修理を承ります。
- ②下記の場合、保証期間内でも有償修理となります。
- (ア) 本書をご提示いただけない場合。
  - (イ) ご購入日ご購入店舗を確認できるレシートや納品書が無い場合。
  - (ウ) 中古、オークションなど正規取扱店以外でのご購入。
  - (エ) ユーザー様のお取扱い上の不注意や過失による故障。
  - (オ) 天変地異、落雷、公害、公衆衛生被害などが原因の場合。
  - (カ) 改造や分解、その他本製品に起因しない事が確認できる場合。
  - (キ) 民製用途以外、産業や工業用途等でのご使用が原因の場合。
- ③データに関する直接、間接共に全ての損害補償は免責となります。(データ保障の免責)
- ④万が一の製品故障時に発生する製品をご使用いただけない期間(ダウンタイム)に関する保証は免責となります。
- ⑤本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ⑥万が一の本製品故障時は、直ぐにご使用を停止してください。その上で、お手数ですが下記お問い合わせ窓口へ故障の連絡をお寄せください。宜しく願い申し上げます。

サポート&お問い合わせ窓口 **support@timely.ne.jp**

**TIMELY** 販売元  
COMPUTER PRODUCTS 株式会社タイムリー  
**http://www.groovy.ne.jp**

〒170-0013  
東京都豊島区東池袋 2-45-2  
ステラビル 5F  
TEL 03 ( 5927 ) 9850  
FAX 03 ( 5927 ) 9660